

平成 30 年 11 月 5 日訂正版

日本観光学会第 112 回全国大会 スケジュール

日本観光学会 会員各位

日本観光学会第 112 回全国大会
大会実行委員長 赤壁弘康 (南山大学)

日本観光学会第 112 回全国大会 第二報

謹啓

会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本観光学会第 112 回全国大会まで 1 か月となりました。共通論題・自由論題のプログラムがほぼ確定しましたので、以下の通り第 112 回全国大会の第二報をお届けいたします。

会員の皆様には万障お繰り合わせの上、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、当該ご案内は、第一報に同封したはがきで出席のご返事を頂戴している会員の皆様にのみお送りしておりますが、学会公式 WEB ページ <http://www.kankoga.or.jp/> にも掲載される予定です。プログラム内容の更新・変更がある場合は、メールないしは学会公式 WEB ページでお知らせしたいと存じます。

大会参加費は 3,000 円 (大学院生 2,000 円) , 懇親会費は 4,000 円 (大学院生 2,000 円) となりました。大会当日に受付でお支払いください (恐れ入りますが、なるべく釣銭が発生しないよう、ご協力をお願い申し上げます)。会場 (南山大学名古屋キャンパス) へのアクセスについては、次ページをご参照ください。

11 月 17 日 (土)

9:30~	受付開始 (Q 棟 1F, 以下の Q 棟配置図参照) 参加費 : 3,000 円 (大学院生 2,000 円) , 懇親会費 : 4,000 円 (大学院生 2,000 円)			
	Q101 教室	Q102 教室	Q103 教室	Q104 教室
10:00~	共通論題	自由論題 1		休憩室
12:00	都市観光の展望と課題 1			
12:00~	昼食休憩		(理事会 Q 棟 F5 会議室)	
13:00	シンポジウム 都市観光の展望と課題			休憩室
14:45				
15:00~				
15:30				
15:30~	共通論題	自由論題 2	自由論題 3	休憩室
17:30	都市観光の展望と課題 2			

11 月 18 日 (日)

9:30~			自由論題 4	自由論題 5
12:00			11:30 終了	



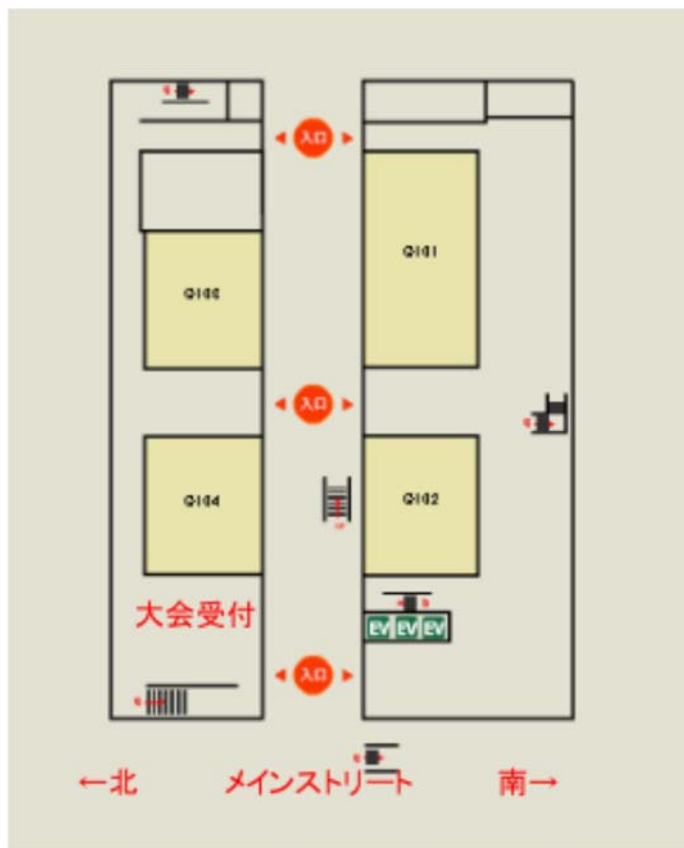
キャンパス住所：〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18



全国大会会場 Q 棟 1F

JR・近鉄「名古屋」駅より市営地下鉄東山線「本山」駅で地下鉄名城線乗り換え、「名古屋大学」「八事日赤」駅より徒歩

学内配置図、学会会場（Q棟1F）、懇親会会場（学生会館コパン）



Q棟1F 受付・会場



懇親会場：ヴォーノ（学生会館コパン階上）

昼食：コパン内ローソン、食堂は利用可能。
その他、C棟食堂、S棟レストランも利用可能

喫煙場所以外、キャンパス内は全面禁煙です。

喫煙場所：Q棟北隣（コパン向い側）テニスコート横のごみ収集場奥

共通論題 都市観光の展望と課題 1 Q101 10:00～12:00	竹澤直哉 南山大学	10:00	大都市圏におけるレジャー圏の産業構造 —名古屋を中心とした駅勢圏に着目して—	竹内啓仁	愛知大学経営総合科学研究所
		10:30	観光情報を対象とした対話型検索システムの開発	阿部真也 吉次なぎ 三木大輔 山本佳世子	東京都立産業技術研究センター 同上 同上 電気通信大学大学院情報工学研究科
		11:00	大都市における観光の外部性に関する研究	野呂純一 神頭広好	学習院大学 愛知大学
		11:30	「道の駅」設置と地域振興	麻生憲一 津田康英	立教大学 奈良県立大学
		自由論題 1 Q102 10:00～12:00	長橋透 青山学院大学	10:00	高等学校における観光教育に関する研究現状の高等学校における観光教育に関する調査と次期学習指導要領からの考察
		10:30	日本版DMOの現状と期待	矢島正枝	和歌山大学観光学研究科 博士課程後期
		11:00	観光における個人特性と動機との関係性	三橋勇太	東北大学大学院情報科学研究科 博士後期課程
		11:30	観光周遊乗合バスにみる公と民の役割分担 —市町村の費用負担がなぜ必要なのか—	新納克広	奈良県立大学
シンポジウム Q101 13:00～14:45	南川和充 南山大学	13:00	都市観光の展望と課題		
			「都市観光」の推進と課題	須田寛	JR 東海相談役
			あいち観光戦略	武田光弘	愛知県振興部観光推進監
			名古屋市の観光に関する現状分析	大野壽久	名古屋市観光文化交流局観光交流部 観光推進室室長
学会総会 Q101 15:00～15:30					

11月17日(土)午後 研究報告・懇親会

共通論題 都市観光の展望と課題 2 Q101 15:30～17:30	麻生憲一 立教大学	15:30	岐阜県東濃地方のリニア中央新幹線開業による観光経済効果試算と期待	猿爪雅治	愛知大学経営総合科学研究所
		16:00	新たな観光地域づくりに向けた伴走型観光政策の展開について	堀 智考	岐阜県環境生活部環境生活政策課
		16:30	リアル謎解きイベントのドラマツルギー —都市観光における「探索」「攻略」体験の位相—	天野景太	大阪市立大学
		17:00	国際観光局とカジノ	上田卓爾	ホリスティックライフ研究所
自由論題 2 Q102 15:30～17:30	新納克広 奈良県立大学	15:30	「生業(なりわい)」としての水産業を守りつつ、「観光」としての「うたせ船」は存続できるのか— 熊本県芦北町—	新田 時也	東海大
		16:00	Twitterから見る観光客の情報発信について—ゴールデンウィーク期間における岩手県内観光地の投稿を例として—	大志田憲	岩手県立大学短期大学部
		16:30	観光立国で活用が期待される「宿坊」の現代的変容—多様化する運営形態とそのアクターに注目して—	和栗隆史	大阪府立大学大学院経済学研究科 博士前期課程
		17:00	観光業とCSV(共通価値の創造)についての—考察	林良隆	共栄大学
自由論題 3 Q103 15:30～17:30	角本伸晃 実践女子大学	15:30	航空業界におけるアライアンスの展開と動向	西嶋啓一郎	日本経済大学
		16:00	“ツチノコ共和国”の30年からみたミニ独立国方式の観光振興	白石太良 野崎和生	流通科学大学(名誉教授) 地域づくり団体ツチノコ共和国
		16:30	Tourismの誕生と発達	佐竹真一	NPO法人観光推進機構 理事
		17:00	受理される論文を書くために何が必要か? —編集委員会からの体験的アドバイス—	大江靖雄	『日本観光学会誌』編集委員長

懇親会

18:00～20:00

ヴォーノ(Q棟向い側 学生会館「コパン」階上)

11月18日(日) 午前 研究報告

自由論題4 Q103 9:30~12:00	天野景太 大阪市立大学	9:30	協働型企業博物館による地域ブランディングの研究 —道修町ミュージアムストリートを事例として—	久本 拓弥	大阪府立大学大学院経済学研究科 博士前期課程
		10:00	米ギフトの購入頻度とその要因	奥本夏実 大江靖雄	千葉大学園芸学部 千葉大学大学院園芸学研究科
		10:30	観光列車の運行と沿線地域の活性化に関する考察— しなの鉄道・観光列車「ろくもん」を事例として—	張茜 麻生憲一	立教大学 大学院 立教大学
		11:00	観光消費における土産の位置づけと地域資源を活 かした特産品の開発について	津田康英 麻生憲一	奈良県立大学 立教大学
自由論題5 Q104 9:30~12:00	神頭広好 愛知大学	9:30	観光・レジャー産業の中期経営計画と財務体質の特 徴—レジャー施設業界の会計数値と財務指標	斎藤孝一	南山大学 経営学部
		10:00	人口減社会の中、持続可能な自治体に向けた観光の 役割	小桧山大介	日本航空 (宇部市総合戦略局統括監)
		10:30	建築史的調査による観光資源化について	丸山俊明	びわこ学院大学短期大学部
		11:00	長崎県佐世保市浦頭港をめぐる旅行の歴史の伝え方	滝 知則	長崎国際大学
		11:30	地方農村都市における交流人口創出の実態 ～山形県川西町における試みと課題～	中村智彦	神戸国際大学経済学部